

～ アナタノココロ オミトオシ！？あなたの心をズバリあてる携帯型人工知能ゲーム～

トウエンティキュー
話題の『20Q™』が累計販売数30万個を突破！

3月18日には、パステルカラーの新色を2種発売

株式会社 バンダイ

本社：東京都台東区駒形1-4-8
社長：上野和典、資本金：246億円

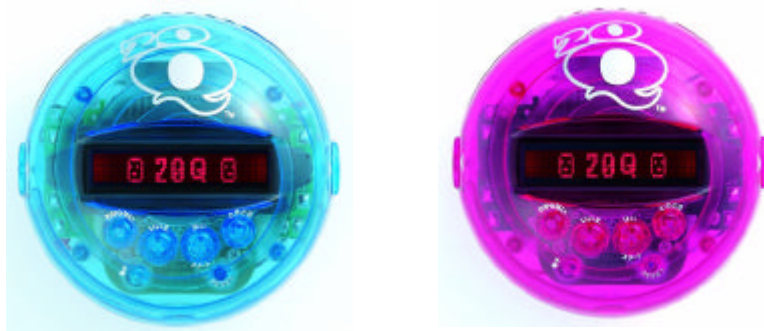
株式会社バンダイから発売中の、携帯型人工知能ゲーム『20Q™』(2,100円/税込)が、3月末日時点で累計販売数30万個を突破する見込みです。

『20Q™』は、20個の質問によって、あなたの思い浮かべているものをズバリ言い当ててしまう携帯型人工知能ゲームです。米国RADICA社が開発し、2004年1月の発売以来、米国国内では累計400万個を販売している大ヒット商品です。また、ドイツ、スペイン、フランス、中国など世界各国でも発売されています。

日本語版は、バンダイが2005年11月12日に発売。日本語版用にデータ収集するため、『20Q™』のお試し版ウェブサイトを開示したところ、ブログ等で大変話題となり、10日間で100万件という驚異的なアクセスを記録しました。発売前からすでに話題となった『20Q™』の面白さは、商品発売以降、10代から20代の男女を中心に幅広い層の支持を受けています。

また、3月下旬には、春らしいパステルカラーの「スカイブルー」と「ストロベリー」の新色の発売も予定しています。

今後もますます話題沸騰の『20Q™』にどうぞご期待下さい。



『20Q™』

(左)スカイブルー / (右)ストロベリー

(C)2003 RADICA GAMES LTD.

『20Q™』とは？

相手の考えたものを20個の質問から想像して当てる、という欧米で伝統的なゲーム「20 QUESTIONS」がもととなっています。古くは1700年代から遊ばれた記録が残っており、非常に歴史あるゲームの一つです。そしてこの遊びをデータベース化し、玩具にしたのが本商品です。

日本語版を発売するにあたり、日本人の文化や思考パターンにあわせた仕様とするため、WEBにてデータ収集を行いました。その結果、ブログや掲示板等で多数紹介され約80万人、100件以上のサンプルデータの収集に成功。「みそ汁」「うめぼし」といった日本固有のものや、「ニート」といった流行の言葉なども言い当てることが可能となっています。



< 商品概要 >

商品名	: 20Q™ (トゥエンティキュー)
希望小売価格	: 2,100円 (税込)
発売日	: 2006年3月下旬
種類	: スカイブルー / ストロベリー
ターゲット	: 10 ~ 20代の男女
販売ルート	: 雑貨店、玩具専門店など
パッケージサイズ	: H210 x W130 x D40 (mm)
電池	: 単4電池 x 2本使用 (テスト用電池付)

バンダイ ホームページURL : <http://www.bandai.co.jp/>
ブレイトイTV アソビジョン ホームページURL : <http://www.asovision.com/>